



「安心・安全・温かい」学校の推進

学校だより

X <https://x.com/ooizumitokushi>

東京都立大泉特別支援学校

学校通信 第5号

令和8年9月1日

HP

大泉特別支援学校

検索

校長 古山 尚秀

はじめに、7月の熊本地震及び8月の千葉豪雨でお亡くなりになった方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

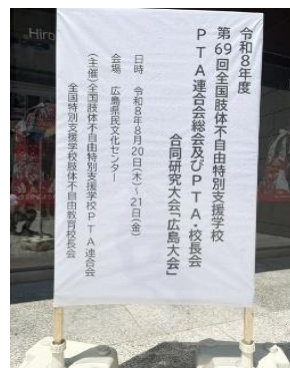
【今日から9月！】

「名月や 池をめぐりて 夜もすがら」俳人・松尾芭蕉（まつおばしょう）

9月を迎えました。暦の上では既に秋ですが、まだまだ厳しい残暑が続いています。それでも朝夕の風や空の色に、少しずつ季節の移ろいを感じる頃となりました。夜空に浮かぶ月を眺めながら静かに季節を感じる心は、今の時代にも大切にしたい感性です。さて、夏休みが終わり、学校には子供たちの元気な声と笑顔が戻ってきました。友達や教職員との再会を喜ぶ姿、夏休み中の出来事を表情や言葉、しぐさで一生懸命伝えようとする姿から、子供たち一人一人の豊かな成長を感じています。

【第69回全肢P連広島大会】

強い日差しと厳しい残暑の広島で、第69回全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会広島大会に参加してきました。全国各地から参集した保護者や教職員の皆様と共に、基調講演の聴講や各地の現状、実態に関する情報交換など、とても内容の濃い、有意義な2日間を過ごすことができました。大会終了後、平和記念公園にも立ち寄ることができました。ここを訪れる多くの人々が、原爆ドームを見つめ平和への思いを新たにしていました。蝉の鳴き声が響く真夏の広島は、81年前の戦争の悲惨さと平和の尊さを静かに語り掛けてくれる特別な場所です。私も原爆ドームを間近に見ながら広島に寄せられた思いを受け止め、一人一人の命や日常の平和な暮らしの大切さについての思いを強くしてきました。



【防災の日】

さて、1923（大正12）年9月1日に発生した関東大震災から、今年で103年を迎えます。9月1日は「防災の日」として、各地で様々な防災行事が行われています。本校では8月25日に、教職員による総合防災訓練（首都直下型地震を想定）を実施しました。また、本日も教職員のスクールバス連絡訓練（バス運行中の大規模災害を想定）を実施します。今月16日に実施する避難訓練では、子供たちも防災学習に取り組みます。首都直下型地震の発生率は今後30年以内に70%程度と予想されています。保護者の皆様も、ぜひお子様と一緒に御家庭での防災について話題にしてみてください。日常生活のちょっとした備えが、大規模災害が発生した際の「気持ちの備え」につながります。

【前期も残り1か月！】

前期も残すところ1か月となりました。9月はこれまでの学習や学校生活を振り返り、一人一人が取り組んできたこと、できるようになったことを確認する大切な時期です。本校は、子供たちが安心して学び、自分らしく力を発揮できるよう、日々の授業や学校生活の中で「できた」「分かった」「やってみたい」という気持ちを大切にしています。仲間と一緒に活動し、自分の役割を果たす経験は、子供たちの自信や次の学習への意欲につながります。教職員一同、一人一人の実態や思いを大切にしながら、安全に、そして安心して学習活動に取り組めるよう準備を進めてまいります。9月は夏の疲れが出やすい時期でもあります。実りの秋に向け、子供たちの学びと成長が無理なく、さらに豊かなものとなるよう、学校と御家庭が共に力を合わせていきましょう。引き続き本校教育活動への御理解と御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。